

Solid-State Memory Camcorder

追加機能について _____ JP

About Additional Functions _____ GB

À propos des fonctions supplémentaires _____ FR

Informationen zu zusätzlichen Funktionen _____ DE

Informazioni sulle funzioni aggiuntive _____ IT

Acerca de las funciones adicionales _____ ES

PXW-X200

同梱のCD-ROMに収録されている取扱説明書（PDF形式）と併せて、下記説明をお読みください。

本書記載の追加機能は、下記ふたつのソフトウェアを組み合わせでの機能です。

- 本体ソフトウェア（V2.1）
- ネットワーク機能ソフトウェア（V2.12）

Content Browser Mobileアプリケーションは、V2.0以降をお使いください。

ネットワーククライアントモードについて

NETWORK SETメニューにNW Client Modeメニューが追加されました。

ソニー製ネットワークRXステーションPWS-100RX1（別売り）と、このネットワーククライアントモードを組み合わせることで、ソニーのQoS技術を使用した、パケットロスの少ない高品質なストリーミングが可能になります。

NW Client Modeでカムコーダーを使用中は、ネットワークRXステーションのConnection Control Manager（CCM）アプリケーションからカムコーダーを操作します。

NW Client Modeメニューの項目一覧

NETWORK SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
NW Client Mode	Setting On / Off	CCMとの接続を開始するか、切断するかを設定する
	CCM Address	接続先のCCMのアドレスを入力する （ホスト名またはIPアドレス）
	CCM Port 00001～ 08443 ～65535	接続先のCCMのポート番号を入力する
	User Name	CCM接続認証用ユーザー名を入力する
	Password	CCM接続認証用パスワードを入力する
	Set	接続設定を有効にする(Executeで実行)
	Execute / Cancel	

ソニーのQoS技術を用いた高品位なストリーミングを行う

- 1 本機をネットワークに接続する。
詳しくは、取扱説明書（PDF）をご覧ください。
- 2 NETWORK SETメニューのNW Client Modeで、CCM Address、CCM Port、User Name Passwordを設定する。
- 3 NETWORK SETメニューのNW Client ModeのSetで、Executeを選択する。
設定内容が確定されます。
- 4 NETWORK SETメニューのNW Client ModeのSettingをOnにする。

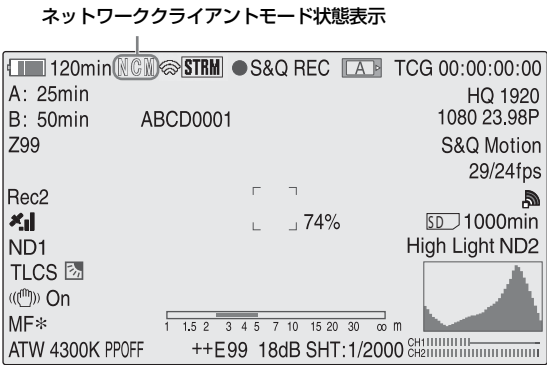
ネットワーククライアントモードが有効になり、ネットワークRXステーションPWS-100RX1と接続します。ネットワークRXステーションPWS-100RX1の操作により、ライブ映像の伝送が開始されます。操作について詳しくは、ネットワークRXステーションPWS-100RX1の取扱説明書をご覧ください。

なお、NW Client ModeのSetting (On / Off) は、本機のアサインブルボタンに割り当てることができます。

ご注意

- ネットワーククライアントモードに移行すると、ストリーミング、モニタリング、プロキシー記録およびファイル転送はできません。
- モニタリング中、プロキシー記録中またはファイル転送中にネットワーククライアントモードに移行すると、これらの動作は停止します。

ネットワーククライアントモード時の接続状態表示について



NW Client ModeをOnにすると、LCD/EVFのネットワーククライアントモード状態表示部に、CCM（ネットワークRXステーションPWS-100RX1のConnection Control Manager）への接続状態が表示されます。

条件			
メニューのNETWORK SET >Network Mode	メニューのNETWORK SET > NW Client Mode > Setting	状態	表示内容
Off	Off	—	表示なし
Off	On	CCM未接続	表示なし
Off以外		CCM接続	NCM 点灯表示
		CCM接続中	NCM 点滅表示
		CCM接続エラー	NCM× 点灯表示

Webメニューについて

設定メニューのDevice Statusについて

ネットワーククライアントモードがオンのときは、StreamingとProxyが以下の項目となります。

- Network Client
Connected to CCM Name：接続完了
エラー表示：Destination Address Error、Authentication Failed、No Internet Access、Certificate is not yet valid
- Streaming
Running：ストリーミング中
Stop：停止中
Initializing：準備中
- Proxy
Stop：停止中
Disabling：記録不可

ご注意

Certificate is not yet validは、日付設定が不正である可能性があります。日付の設定を確認してください。

プロキシー記録について

測位情報の取得（GPS）について

プロキシーデータにGPSで測位した情報を記録できるようになりました。

プロキシーデータの静止画記録

プロキシー記録をするとプロキシーデータの先頭フレームの静止画も同時に記録されます。

Content Browser MobileアプリケーションのV2.0以降でできること

プロキシーデータのサムネイル表示

先頭フレームの静止画ファイルを使用し、プロキシーデータのサムネイルをすばやく表示することができます。

プロキシデータの部分転送をする

Content Browser Mobileアプリケーションを使用すると、プロキシデータからイン点／アウト点を指定して切り出した部分を転送することができます。

ご注意

- 生成されるファイルには、切り出し位置の前後に最大15フレームのマージンが付加されます。
- ネットワーク機能ソフトウェア(V1.32)以前で記録したプロキシデータから切り出した場合には、ノンリニア編集機に取り込めない場合があります。

本線記録にエッセンスマークを付加する

Content Browser Mobileアプリケーションを使用すると、本機の記録中にエッセンスマークを付加することができます。プロキシデータにも反映します。このエッセンスマーク情報を使って、ファイルの切り出し位置を簡単に設定することができます。

ご注意

- 本機に記録されるオリジナルファイルの情報を継承した同一サイズのプロキシデータの場合にのみ有効です。
- オリジナルファイルが分割された場合は、プロキシデータには反映されません。

ストリーミングフォーマットとプロキシフォーマット設定について

V1.2（本体ソフトウェア）ではプロキシフォーマット設定のBit Rateを9Mbpsに設定している場合、ストリーミング設定のBit Rateを6Mbps以上に設定することはできませんでしたが、V2.0（本体ソフトウェア）からは設定が可能になりました。Bit Rateが6Mbps以上に設定されているプリセットを選択しても、ストリーミングのBit Rateは自動的に3Mbpsに変更されることはありません。

Content Browser Mobileのモニタリングについて

ご使用時の電波環境およびモバイル端末によっては、モニタリング映像が停止する場合があります。

ネットワーク接続による対応機能について

NETWORK SETメニューのNetwork ModeがWired LANのときに本機のWebメニューやWi-Fiリモコンへのアクセスが可能になりました。

NETWORK SETメニューのWi-Fi Remoteをメニュー名変更したNetwork RemoteをOnにするとアクセスを許可します。

ご注意

インターネットからの不正アクセスを防ぐため、有線LANネットワークがインターネットに接続していないときにNetwork RemoteをOnにすることを推奨します。インターネットに接続する場合は、接続先がセキュアなネットワークであることをご確認の上で使用ください。

ワイヤレスLANのチャンネルについて

5GHz帯に対応した新ワイヤレスLANモジュール（CBK-WA02（別売））を使用することができます。

5GHz対応のワイヤレスLANモジュールを装着して、NETWORK SET>Network ModeでワイヤレスLANの動作モードをStationに設定した場合は、5GHz対応のアクセスポイントと接続できます。

ワイヤレスLANのチャンネル設定の一部が変更されました。

NETWORK SETメニューのChannelで、設定を行ってください。

- Auto：CH1～CH11を自動で選択
- CH1～CH11：チャンネルを手動で選択
- Auto (5GHz)：5GHz帯のチャンネルを自動で選択（5GHz対応のワイヤレスLANモジュールを装着した場合のみ表示されます）

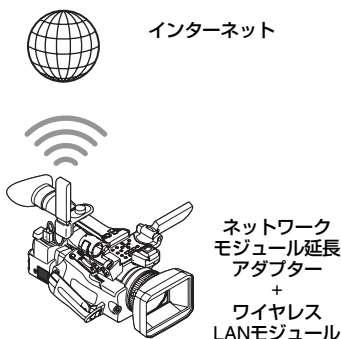
ご注意

Auto (5GHz) は、ご使用になるワイヤレスLANモジュールにより、表示されない場合があります。

5GHz帯の屋外使用が禁止されている国／地域向けの場合、表示されません。ワイヤレスLANモジュールが、ご使用になる国／地域に対応しているかご確認ください。詳しくは、ワイヤレスLANモジュールの取扱説明書をご覧ください。

ワイヤレスLANモジュール（CBK-WA02）を本機に取り付ける

- 1 外部機器接続端子のカバーを開ける。
- 2 ワイヤレスLANモジュール（CBK-WA02（別売り））に付属している通信モジュール延長アダプター（CBK-NA1E）を本機に取り付ける。
凸端子を本機の外部機器接続端子に接続し、凹端子にワイヤレスLANモジュールを取り付けます。本機のアクセサリシュー取り付け部のねじ穴（1/4インチ）を使って固定できます。



- 3 ワイヤレスLANモジュールを通信モジュール延長アダプターに装着する。

ご注意

ワイヤレスLANモジュールの取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

マルチインターフェースシューに装着したワイヤレスマイクロホンへの給電について

従来は、ネットワーク機能を使用している際にマルチインターフェースシューへ電源供給できませんでしたが、バージョンアップにより、カムコーダーがバッテリーにより駆動している場合はマルチインターフェースシューへの電源供給が可能になり、ネットワーク機能使用時にワイヤレスマイクロホンUWP-D11/D12を装着して使用することができます。

その他のメニュー / 警告表示の変更

LCD/VF SETメニュー

- Display On/OffにNW Client Statusを追加
NW Client ModeでのCCMとの接続の状態表示をOn/Offする

NETWORK SETメニュー

- Proxy File>Bit Rateに6Mbpsを追加
- Wi-Fi RemoteをNetwork Remoteにメニュー名変更

OTHERSメニュー

- Assign Button><1>～<5>にNW Client Modeを追加

警告表示

警告表示に変更と追加があります。表示内容と対策は以下のとおりです。

LCD/EVF警告表示		原因と対策
バージョンアップ前	バージョンアップ後	
Cannot Record to SD card NG:Preparing	Cannot Record Proxy NG:Preparing	プロキシ記録機能の準備中です。しばらくお待ちください。
Cannot Record to SD Card	Cannot Record Proxy	ストリーミングを開始するとSDカードへのプロキシ記録はできなくなります。 記録中の場合は、記録が停止します。プロキシ記録する場合は、ストリーミングを停止してください。 また、ネットワーククライアントモードを有効にすると、プロキシ記録ができなくなります。
-	Cannot Connect to CCM Invalid User Name or Password	ネットワーククライアントモードでCCMに接続するためのユーザー名またはパスワードが間違っている可能性があります。正しく設定されているか確認してください。

LCD/EVF警告表示		原因と対策
バージョンアップ前	バージョンアップ後	
-	Cannot Connect to CCM Invalid Address or Port Number	ネットワーククライアントモードで接続先のCCMのアドレスが間違っているか、使用できないポート番号が入力された可能性があります。正しい値を入力してください。
-	Cannot Connect to CCM Certificate is not yet valid	CCMの証明書が有効ではありません。日付設定が不正である可能性があります。日付の設定を確認してください。

ネットワーク接続に必要な機器

ネットワーク接続には、USBワイヤレスLANモジュール、3G/4G/LTE USBモデム、またはUSB-RJ45アダプターが必要です。

ご注意

- ワイヤレスLANモジュールは、国・地域によって利用できない場合があります。
- ワイヤレスLANモジュールが使用する周波数帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。使用環境によっては、他の機器の影響によって、通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 3G/4G/LTE回線を利用するには、携帯電話事業者との契約が必要です。
- 本機に対応しているネットワーク接続に必要な機器については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

Read the following instructions together with the Operating Instructions (PDF format) stored on the accompanying CD-ROM.

The added functions described in this document are those that combine the following two software.

- Camcorder software (V2.1)
- Network function software (V2.12)

Use the Content Browser Mobile application V2.0 or later.

About the network client mode

The “NW Client Mode” menu is added to the “NETWORK SET” menu.
By using a combination of the Sony network RX station PWS-100RX1 (optional) and this network client mode, high quality streaming with less packet loss using the Sony QoS technology is available.

While using the camcorder with “NW Client Mode,” operate the camcorder from the Connection Control Manager (CCM) application.

“NW Client Mode” Menu List

NETWORK SET		
Menu items	Subitems and setting values	Contents
NW Client Mode	Setting On / Off	Set whether to start connection or disconnect with CCM.
	CCM Address	Input the address of CCM for the equipment connected (Host name or IP address)
	CCM Port 00001 to 08443 to 65535	Input the port number of CCM for the equipment connected
	User Name	Input the user name for CCM access authentication
	Password	Input the password for CCM access authentication
	Set	Enable the connection setting (Execute)
	Execute / Cancel	

Streaming with the high resolution using the Sony QoS technology

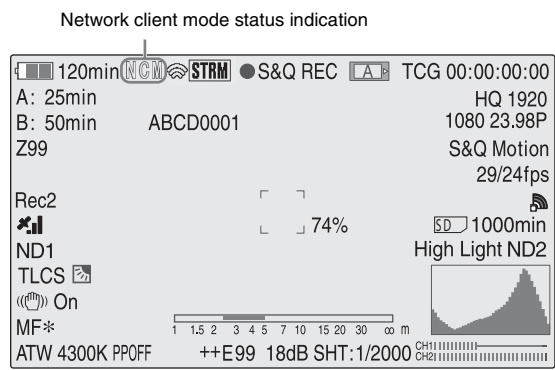
- 1 Connect the camcorder with the network.**
For details, refer to the operating instructions (PDF).
- 2 Set “NW Client Mode” in the “NETWORK SET” menu to “CCM Address,” “CCM Port,” “User Name,” or “Password.”**
- 3 In “NW Client Mode” of the “NETWORK SET” menu, select “Execute” for “Set.”**
The set items are confirmed.
- 4 Set “Setting” in “NW Client Mode” of the “NETWORK SET” menu to “On.”**

The network client mode is enabled and the camcorder is connected with the network RX station PWS-100RX1. The transmission of live video is started by operating the network RX station PWS-100RX1. For details, refer to the operating instructions of the network RX station PWS-100RX1. You can assign “Setting” (On/Off) in “NW Client Mode” to an assignable button.

Notes

- When switched to the network client mode, streaming, monitoring, proxy recording, or file transferring cannot be performed.
- When switched to the network client mode during monitoring, proxy recording, or file transferring, these operations stop.

About the network connection status indication during the network client mode



When “NW Client Mode” is set to “On,” the connection status with CCM (Connection Control Manager for the network RX station PWS-100RX1) is displayed.

Conditions			
“NETWORK SET” menu>“Network Mode”	“NETWORK SET” menu>“NW Client Mode”> “Setting”	Status	Indication
Off	Off	-	
Off	On	Not connected to CCM	
Other than “Off”		Connected to CCM	NCM Lit
		Connecting to CCM	NCM Flashing
		CCM connection error	NCM× Lit

About the Web menu

About “Devices Status” in the Setting menu

When the network client mode is on, “Streaming” and “Proxy” are set to the following:

- “Network Client”
 - “Connected to CCM Name”: Connection completed
 - Error display: “Destination Address Error,” “Authentication Failed,” “No Internet Access,” “Certificate is not yet valid”
- “Streaming”
 - “Running”: While streaming
 - “Stop”: While stopped
 - “Initializing”: While preparing
- “Proxy”
 - “Stop”: While stopped
 - “Disabling”: Cannot record

Note

When “Certificate is not yet valid” appears, the date may be set to an invalid value. Check the date setting.

About Proxy Recording

About acquiring the positioning information (GPS)

You can record the positioned information to the proxy data via GPS.

Recording of the proxy data’s still images

When proxy recording is performed, the still image of proxy data’s first frame is recorded simultaneously.

Abilities using the Content Browser Mobile application V2.0 or later

Displaying the proxy data’s thumbnails

You can display the proxy data’s thumbnails quickly using the first frame’s still image.

Transferring the proxy data partially

When you use the Content Browser Mobile application, you can transfer the clipped partial data by specifying the in-point and out-point from the proxy data.

Notes

- The maximum 15-frame margin is attached in front and behind the clipped point in a generated file.
- When you clip the proxy data recorded with network function software V1.32 or earlier, the data may not be taken to the non-linear editor.

Attaching the essence marks to the recorded data of this unit

When you use the Content Browser Mobile application, you can attach the essence marks while recording to this unit. They are also applied to the proxy data. You can set the clip position of a file simply using this essence mark information.

Notes

- This is only enabled for the same size proxy data which succeeds the original file information recorded to this unit.
- When the original file is divided, the essence marks are not applied to the proxy data.

About setting the streaming format and proxy format

When “Bit Rate” of the proxy format setting is set to “9Mbps” in V1.2 (camcorder software), “Bit Rate” of the streaming setting cannot be set to more than “6Mbps.” However, the setting can be done in V2.0 (camcorder software). If you select the preset whose “Bit Rate” is set to more than “6Mbps,” “Bit Rate” of the streaming is not changed to “3Mbps” automatically.

About the monitoring of Content Browser Mobile

The monitoring video image may stop due to signal conditions when used on mobile devices.

About the corresponding functions via the network connection

When “Network Mode” in the “NETWORK SET” menu is set to “Wired LAN,” the access to the Web menu of the unit and the Wi-Fi remote controller can be performed.

When “Wi-Fi Remote,” which is changed to “Network Remote” in the “NETWORK SET” menu, is set to On, access is permitted.

Note

To prevent unauthorized access from the internet, we recommend to set “Network Remote” to On when the wired LAN network is not connected to the internet. When connecting to the internet, confirm whether the connecting destination is a secure network.

About the channel of the wireless LAN

You can use the new CBK-WA02 wireless LAN module (sold separately) that is compatible with the 5GHz range.

When the wireless LAN module compatible with 5GHz is installed and the operation mode of the wireless LAN is set to “Station” in the “Network Mode” of the “NETWORK SET” menu, you can connect to the access point compatible with 5GHz.

Some channel settings for the wireless LAN have been changed.

Set “Channel” in the “NETWORK SET” menu.

- Auto: CH1 to CH11 automatically selected
- CH1 to CH11: Selecting a channel manually
- Auto (5GHz): The channel in the 5GHz band is selected automatically (displayed only when the wireless LAN module compatible with 5GHz is attached)

Note

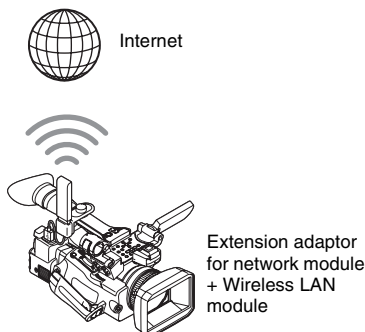
"Auto (5GHz)" may not be displayed depending on the wireless LAN module used.

Not displayed if the module is for the country/region where outdoor use in the 5GHz band is prohibited. Make sure that the wireless LAN module is supported in the country/region of use. For details, refer to the operating instructions of the wireless LAN module.

Attaching the wireless LAN module (CBK-WA02) to the camcorder

- 1 **Open the cover of the external device connector.**
- 2 **Attach the network module extension adapter (CBK-NA1E) supplied with the wireless LAN module CBK-WA02 (sold separately) to the camcorder.**

Connect the convex terminal to the external device connector on the camcorder and connect the wireless LAN module to the concave terminal. You can attach the adaptor to the screw hole (1/4 in.) of the accessory shoe mount.



- 3 **Attach the wireless LAN module to the network module extension adapter.**

Note

Attach/remove the wireless LAN module while the camcorder is turned off.

About power supply to the wireless microphone attached to the Multi Interface Shoe

Power supply to the Multi Interface Shoe while using the network function has not been available. By updating, however, power supply to the Multi Interface Shoe becomes available when the camcorder is operated with the battery and the wireless microphone UWP-D11/D12 can be attached to use while using the network function.

Changes of other menus/warning indications

“LCD/VF SET” menu

- “NW Client Status” is added to “Display On/Off”
Turning the indication On/Off for the connection status to CCM in “NW Client Mode”

“NETWORK SET” menu

- “6Mbps” is added to “Bit Rate” in “Proxy File”
- The menu name of “Wi-Fi Remote” is changed to “Network Remote”

“OTHERS” menu

- “NW Client Mode” is added to “<1>” to “<5>” in “Assign Button”

Warning indications

There are changes and additions for warning indications. Contents of indications and measures are as follows.

Warning indication on LCD/EVF		Cause and measures
Before update	After update	
Cannot Record to SD card NG:Preparing	Cannot Record Proxy NG:Preparing	The proxy recording function is being prepared. Wait a while.
Cannot Record to SD Card	Cannot Record Proxy	When streaming is started, proxy recording to “SD Card” is not available. Recording stops when recording is in progress. To start proxy recording, stop streaming. When the network client mode is enabled, proxy recording is not available.
-	Cannot Connect to CCM Invalid User Name or Password	User name or password for connecting to CCM with the network client mode may not be correct. Check the settings.
-	Cannot Connect to CCM Invalid Address or Port Number	The address of CCM for the connected equipment with the network client mode may be not correct or a port number that cannot be used may be input. Input the correct value.
-	Cannot Connect to CCM Certificate is not yet valid	The CCM certificate is not valid. The date setting may be set to an invalid value. Check the date setting.

Required device to use the function

For a network connection, the USB wireless LAN module, 3G/4G/LTE USB modem, or USB-RJ45 adaptor is required.

Notes

- The wireless LAN module may not be available in some countries/regions.
- The frequency band for the wireless LAN module is shared by various devices. Depending on the use environment, transmission speed and distance may be decreased, or communication may be disconnected, by using other devices.
- To use the 3G/4G/LTE services, you need to contract with a cell phone company.
- For details about the required compatible device for the network connection, contact your Sony dealer or a Sony service representative.

Lisez les instructions suivantes ainsi que le mode d'emploi (format PDF) inclus sur le CD-ROM fourni.

Les nouvelles fonctions décrites dans ce document combinent les deux logiciels ci-dessous.

- Logiciel du caméscope (V2.1)
- Logiciel de fonction réseau (V2.12)

Utilisez l'application Content Browser Mobile V2.0 ou ultérieure.

À propos du mode de client réseau

Le menu « NW Client Mode » est ajouté au menu « NETWORK SET ».

Grâce à une combinaison de la station réseau RX Sony PWS-100RX1 (en option) et à ce mode de client réseau, une diffusion continue de haute qualité offrant une perte de paquets inférieure à l'aide de la technologie Sony QoS est disponible.

Pendant l'utilisation du caméscope avec « NW Client Mode », commandez le caméscope à partir de l'application Connection Control Manager (CCM).

Liste de menus « NW Client Mode »

NETWORK SET		
Options de menu	Sous-options et valeurs de réglage	Contenu
NW Client Mode	Setting On / Off	Indiquez si vous souhaitez démarrer la connexion ou déconnecter avec CCM.
	CCM Address	Saisissez l'adresse du CCM pour l'appareil connecté (nom d'hôte ou adresse IP)
	CCM Port 00001 à 08443 à 65535	Saisissez le numéro de port du CCM pour l'appareil connecté
	User Name	Saisissez le nom d'utilisateur pour l'authentification d'accès au CCM
	Password	Saisissez le mot de passe pour l'authentification d'accès au CCM
	Set	Activez le réglage de la connexion (Execute)
	Execute / Cancel	

Diffusion continue à haute résolution à l'aide de la technologie Sony QoS

1 Connectez le caméscope au réseau.

Pour plus de détails, consultez le mode d'emploi (PDF).

2 Réglez « NW Client Mode » du menu « NETWORK SET » sur « CCM Address », « CCM Port », « User Name » ou « Password ».

3 Sous « NW Client Mode » du menu « NETWORK SET », sélectionnez « Execute » pour « Set ».

Les éléments réglés sont validés.

4 Réglez « Setting » sous « NW Client Mode » du menu « NETWORK SET » sur « On ».

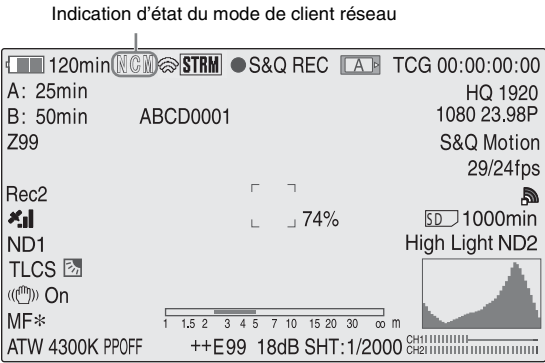
Le mode de client réseau s’active et le caméscope se connecte à la station réseau RX PWS-100RX1. La transmission de vidéo en direct démarre en utilisant la station réseau RX PWS-100RX1. Pour plus de détails, consultez le mode d’emploi de la station réseau RX PWS-100RX1.

Vous pouvez assigner « Setting » (On/Off) sous « NW Client Mode » à une touche assignable.

Remarques

- Lors de la commutation sur le mode de client réseau, la diffusion continue, la surveillance, l’enregistrement du proxy ou le transfert de fichiers est impossible.
- Lors de la commutation sur le mode de client réseau pendant la surveillance, l’enregistrement du proxy ou le transfert de fichiers, ces opérations s’arrêtent.

À propos de l’indication d’état de connexion réseau durant le mode de client réseau



Lorsque « NW Client Mode » est réglé sur « On », l’état de connexion avec le CCM (Connection Control Manager pour la station réseau RX PWS-100RX1) s’affiche.

Conditions			
Menu « NETWORK SET »>« Network Mode »	Menu « NETWORK SET »>« NW Client Mode »> « Setting »	État	Indication
Off	Off	-	
Off	On	Pas connecté au CCM	
Autre que « Off »		Connecté au CCM	NCM Allumé
		Connexion au CCM en cours	NCM Clignotant
		Erreur de connexion au CCM	NCM× Allumé

À propos du menu Web

À propos de la section « Devices Status » du menu Réglage

Lorsque le mode de client réseau est activé, « Streaming » et « Proxy » ont les réglages suivants :

- « Network Client »
 - « Connected to CCM Name » : connexion établie
 - Affichage de l'erreur : « Destination Address Error », « Authentication Failed », « No Internet Access », « Certificate is not yet valid »
- « Streaming »
 - « Running » : durant la diffusion continue
 - « Stop » : durant l'arrêt
 - « Initializing » : durant la préparation
- « Proxy »
 - « Stop » : durant l'arrêt
 - « Disabling » : enregistrement impossible

Remarque

Lorsque « Certificate is not yet valid » apparaît, cela signifie que la date est peut-être réglée sur une valeur non valide. Vérifiez le réglage de la date.

À propos de l'enregistrement du proxy

À propos de l'acquisition des informations de positionnement (GPS)

Vous pouvez enregistrer les informations de positionnement dans les données du proxy via le GPS.

Enregistrement des images fixes des données de proxy

Une fois l'enregistrement du proxy réalisé, l'image fixe de la première trame des données de proxy est enregistrée simultanément.

Capacités en utilisant l'application Content Browser Mobile V2.0 ou ultérieure

Affichage des miniatures des données de proxy

Vous pouvez afficher rapidement les miniatures des données de proxy en utilisant l'image fixe de la première trame.

Transfert partiel des données de proxy

Lorsque vous utilisez l'application Content Browser Mobile, vous pouvez transférer les données partielles tronquées en spécifiant le point d'entrée et le point de sortie à partir des données de proxy.

Remarques

- La marge de 15 trames maximale est rattachée à l'avant et à l'arrière du point tronqué dans un fichier généré.
- Lorsque vous tronquez les données de proxy enregistrées avec le logiciel de fonction réseau V1.32 ou antérieure, les données ne peuvent pas être prises sur l'éditeur non linéaire.

Rattachement des repères de scène essentielle aux données enregistrées de cet appareil

Lorsque vous utilisez l'application Content Browser Mobile, vous pouvez rattacher les repères de scène essentielle tout en enregistrant sur cet appareil. Ceux-ci s'appliquent également aux données de proxy. Vous pouvez définir la position de clip d'un fichier simplement grâce aux informations de ce repère de scène essentielle.

Remarques

- Cette option n'est active que pour les données de proxy de même taille qui succèdent aux informations du fichier d'origine enregistrées sur cet appareil.
- Lorsque le fichier d'origine est scindé, les repères de scène essentielle ne s'appliquent pas aux données de proxy.

À propos du format de diffusion continue et du format de proxy

Lorsque « Bit Rate » dans le réglage du format de proxy est réglé sur « 9Mbps » en V1.2 (logiciel du caméscope), « Bit Rate » dans le réglage de la diffusion continue peut être réglé sur une valeur supérieure à « 6Mbps ». Ce réglage peut cependant se faire en V2.0 (logiciel du caméscope). Si vous sélectionnez le pré-réglage pour lequel « Bit Rate » est réglé sur une valeur supérieure à « 6Mbps », « Bit Rate » dans la diffusion continue ne bascule pas automatiquement sur « 3Mbps ».

À propos de la surveillance de Content Browser Mobile

L'image vidéo de surveillance peut cesser en raison des conditions de signal lors de l'utilisation ou des périphériques mobiles.

À propos des fonctions correspondantes via la connexion réseau

Lorsque « Network Mode » du menu « NETWORK SET » est réglé sur « Wired LAN », l'accès au menu Web de l'appareil et à la télécommande Wi-Fi est possible.

Lorsque « Wi-Fi Remote » (qui devient « Network Remote » dans le menu « NETWORK SET ») est réglé sur On, l'accès est autorisé.

Remarque

Pour empêcher l'accès non autorisé à partir d'Internet, nous recommandons de régler « Network Remote » sur On lorsque le réseau LAN câblé n'est pas connecté à Internet. Lors de la connexion à Internet, vérifiez si la destination de connexion est un réseau sécurisé.

À propos du canal du réseau LAN sans fil

Vous pouvez utiliser le nouveau module LAN sans fil CBK-WA02 (vendu séparément) qui est compatible avec la gamme des 5GHz.

Lorsque le module LAN sans fil compatible 5GHz est installé et que le mode de fonctionnement du réseau LAN sans fil est réglé sur « Station » sous « Network Mode » du menu « NETWORK SET », la connexion au point d'accès compatible 5GHz est possible.

Certains réglages de canal pour le réseau LAN sans fil ont peut-être été modifiés.

Sélectionnez « Channel » dans le menu « NETWORK SET ».

- Auto : CH1 à CH11 automatiquement sélectionné
- CH1 à CH11 : sélection manuelle d'un canal
- Auto (5GHz) : le canal de la bande des 5GHz est automatiquement sélectionné (uniquement affiché lorsque le module LAN sans fil compatible 5GHz est fixé)

Remarque

« Auto (5GHz) » risque de ne pas s'afficher selon le module LAN sans fil utilisé.

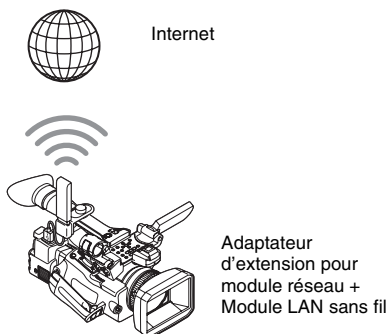
Ne s'affiche pas si le module est destiné à un pays ou à une région où l'utilisation de la bande des 5GHz en extérieur est interdite. Vérifiez si le module LAN sans fil est pris en charge dans le pays ou la région d'utilisation. Pour plus de détails, consultez le mode d'emploi du module LAN sans fil.

Raccordement du module LAN sans fil (CBK-WA02) au caméscope

1 Ouvrez le couvercle du connecteur de périphérique externe.

2 Raccordez au caméscope l'adaptateur d'extension du module réseau (CBK-NA1E) fourni avec le module LAN sans fil CBK-WA02 (vendu séparément).

Raccordez la borne convexe au connecteur pour périphérique externe du caméscope et raccordez le module LAN sans fil à la borne concave. Vous pouvez raccorder l'adaptateur au trou de vis (1/4 pouce) de la monture pour griffe porte-accessoire.



3 Raccordez le module LAN sans fil à l'adaptateur d'extension du module réseau.

Remarque

Branchez/débranchez le module LAN sans fil quand le caméscope est hors tension.

À propos de l'alimentation du microphone sans fil fixé à la griffe multi-interface

L'alimentation de la griffe multi interface pendant l'utilisation de la fonction réseau n'a pas été disponible. Avec la mise à jour, cependant, l'alimentation de la griffe multi Interface devient disponible lorsque le caméscope est utilisé avec la batterie, et le microphone sans fil UWP-D11/D12 peut être fixé pour fonctionner pendant l'utilisation de la fonction réseau.

Changements des autres menus/avertissements

Menu « LCD/VF SET »

- « NW Client Status » est ajouté à « Display On/Off »
Réglage de l'indication sur On/Off pour l'état de connexion au CCM en « NW Client Mode »

Menu « NETWORK SET »

- « 6Mbps » est ajouté à « Bit Rate » sous « Proxy File »
- Le nom de menu de « Wi-Fi Remote » devient « Network Remote »

Menu « OTHERS »

- « NW Client Mode » est ajouté à « <1> » à « <5> » sous « Assign Button »

Avertissements

Il y a des changements et des ajouts pour les avertissements. Voici le contenu des indications et mesures.

Avertissement sur l'écran LCD/EVF		Cause et mesures
Avant la mise à jour	Après la mise à jour	
Cannot Record to SD card NG:Preparing	Cannot Record Proxy NG:Preparing	La fonction d'enregistrement du proxy est en cours de préparation. Veuillez patienter un instant.
Cannot Record to SD Card	Cannot Record Proxy	Lorsque la diffusion continue a démarré, l'enregistrement du proxy sur « SD Card » n'est plus disponible. L'enregistrement s'arrête lorsqu'un enregistrement est en cours. Pour démarrer l'enregistrement du proxy, arrêtez la diffusion continue. Lorsque le mode de client réseau est activé, l'enregistrement du proxy n'est plus disponible.
-	Cannot Connect to CCM Invalid User Name or Password	Le nom d'utilisateur ou le mot de passe pour la connexion au CCM avec le mode de client réseau n'est peut-être pas correct. Vérifiez les réglages.
-	Cannot Connect to CCM Invalid Address or Port Number	L'adresse du CCM pour l'appareil connecté avec le mode de client réseau n'est peut-être pas correcte, ou un numéro de port inutilisable a peut-être été saisi. Saisissez la valeur correcte.

Avertissement sur l'écran LCD/EVF

Cause et mesures	
Avant la mise à jour	Après la mise à jour
-	Cannot Connect to CCM Certificate is not yet valid
Le certificat CCM n'est pas valide. La date est peut-être réglée sur une valeur non valide. Vérifiez le réglage de la date.	

Périphérique requis pour utiliser chaque fonction

Pour une connexion réseau, vous avez besoin du module LAN sans fil USB, d'un modem USB 3G/4G/LTE ou d'un adaptateur USB-RJ45.

Remarques

- Il est possible que le module LAN sans fil ne soit pas disponible dans certains pays/régions.
- La gamme de fréquences du module LAN sans fil est partagée par différents périphériques. Selon l'environnement d'utilisation, il est possible que la vitesse de transmission et la distance diminuent ou que la communication se déconnecte, si vous utilisez d'autres dispositifs.
- Pour utiliser les services 3G/4G/LTE, vous devez souscrire un contrat auprès d'un opérateur de téléphonie mobile.
- Pour plus de détails sur le périphérique compatible requis pour la connexion réseau, contactez votre revendeur Sony ou un technicien Sony.

Lesen Sie die folgenden Anweisungen zusammen mit der auf der mitgelieferten CD-ROM gespeicherten Bedienungsanleitung (im PDF-Format).

Die in diesem Dokument beschriebenen zusätzlichen Funktionen stammen aus den folgenden beiden Softwareprogrammen.

- Camcordersoftware (V2.1)
- Software für die Netzwerkfunktion (V2.12)

Verwenden Sie die Anwendung Content Browser Mobile V2.0 oder höher.

Hinweise zum Netzwerk-Client-Modus

Das Menü „NW Client Mode“ wurde zum Menü „NETWORK SET“ hinzugefügt.

Wenn Sie eine Netzwerkempfangsstation PWS-100RX1 von Sony (gesondert erhältlich) zusammen mit diesem Netzwerk-Client-Modus verwenden, steht Ihnen dank der QoS-Technologie von Sony hochqualitatives Streaming mit weniger Paketverlusten zur Verfügung.

Bedienen Sie den Camcorder beim Verwenden mit „NW Client Mode“ von der App Connection Control Manager (CCM) aus.

Liste der Optionen im Menü „NW Client Mode“

NETWORK SET		
Menüoptionen	Optionen und Einstellwerte	Inhalt
NW Client Mode	Setting On/Off	Einstellen, ob die Verbindung mit CCM hergestellt oder getrennt werden soll.
	CCM Address	Eingeben der Adresse des CCM für das verbundene Gerät (Hostname oder IP-Adresse)
	CCM Port 00001 bis 08443 bis 65535	Eingeben der Portnummer des CCM für das verbundene Gerät
	User Name	Eingeben des Benutzernamens für die CCM-Zugriffsauthentifizierung
	Password	Eingeben des Passworts für die CCM-Zugriffsauthentifizierung
	Set	Aktivieren der Verbindungseinstellung (Execute)
	Execute/Cancel	

Streaming mit hoher Auflösung dank der QoS-Technologie von Sony

- 1 Stellen Sie eine Verbindung zwischen dem Camcorder und dem Netzwerk her.**
Einzelheiten dazu schlagen Sie bitte in der Bedienungsanleitung (PDF) nach.
- 2 Setzen Sie „NW Client Mode“ im Menü „NETWORK SET“ auf „CCM Address“, „CCM Port“, „User Name“ oder „Password“.**

3 Setzen Sie die Option „Set“ unter „NW Client Mode“ im Menü „NETWORK SET“ auf „Execute“.

Die eingestellten Optionen werden bestätigt.

4 Setzen Sie „Setting“ unter „NW Client Mode“ im Menü „NETWORK SET“ auf „On“.

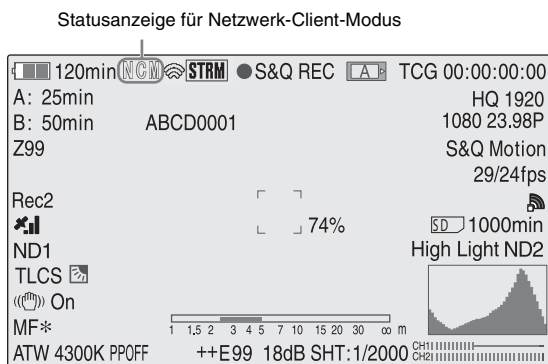
Der Netzwerk-Client-Modus wird aktiviert und eine Verbindung zwischen Camcorder und Netzwerkempfangsstation PWS-100RX1 wird hergestellt. Die Übertragung von Live-Videos lässt sich über die Netzwerkempfangsstation PWS-100RX1 starten. Einzelheiten dazu finden Sie in der Bedienungsanleitung zur Netzwerkempfangsstation PWS-100RX1.

Sie können „Setting“ (On/Off) unter „NW Client Mode“ einer frei belegbaren Funktionstaste zuweisen.

Hinweise

- Wenn in den Netzwerk-Client-Modus umgeschaltet wird, können Streaming, Prüfung, Proxy-Aufzeichnung und Dateiübertragung nicht ausgeführt werden.
- Wenn während der Prüfung, Proxy-Aufzeichnung oder Dateiübertragung in den Netzwerk-Client-Modus umgeschaltet wird, werden diese Funktionen beendet.

Hinweis zur Statusanzeige für die Netzwerkverbindung während des Netzwerk-Client-Modus



Wenn „NW Client Mode“ auf „On“ gesetzt ist, wird der Status der Verbindung mit CCM (Connection Control Manager für die Netzwerkempfangsstation PWS-100RX1) angezeigt.

Bedingungen			
Menü „NETWORK SET“>„Network Mode“	Menü „NETWORK SET“>„NW Client Mode“>„Setting“	Status	Anzeige
Off	Off	-	
Off	On	Nicht mit CCM verbunden	
Andere Einstellung als „Off“		Mit CCM verbunden	 Leuchtet
		Verbindung mit CCM wird hergestellt	 Blinkt
		CCM- Verbindungsfehler	 Leuchtet

Hinweise zum Web-Menü

Hinweise zu „Devices Status“ im Einstellungsmenü

Bei aktiviertem Netzwerk-Client-Modus gilt für „Streaming“ und „Proxy“ Folgendes:

- „Network Client“
„Connected to CCM Name“: Verbindung hergestellt
Fehleranzeige: „Destination Address Error“, „Authentication Failed“, „No Internet Access“, „Certificate is not yet valid“
- „Streaming“
„Running“: Während des Streamings
„Stop“: Gestoppt
„Initializing“: Während der Vorbereitung
- „Proxy“
„Stop“: Gestoppt
„Disabling“: Aufzeichnung nicht möglich

Hinweis

Wenn „Certificate is not yet valid“ erscheint, ist eventuell ein ungültiges Datum eingestellt. Überprüfen Sie das eingestellte Datum.

Hinweise zur Proxy-Aufzeichnung

Hinweis zum Abrufen der Positionsinformationen (GPS)

Sie können die Positionsinformationen über GPS in den Proxy-Daten aufzeichnen.

Aufzeichnen von Standbildern zu Proxy-Daten

Bei der Proxy-Aufzeichnung wird das erste Vollbild der Proxy-Daten gleichzeitig als Standbild aufgezeichnet.

Funktionen mit der Anwendung Content Browser Mobile V2.0 oder höher

Anzeigen der Miniaturbilder zu Proxy-Daten

Da das erste Vollbild der Proxy-Daten als Standbild vorliegt, lassen sich die Miniaturbilder zu den Proxy-Daten rasch anzeigen.

Übertragen von Ausschnitten aus Proxy-Daten

Mit der Anwendung Content Browser Mobile können Sie Ausschnitte aus Proxy-Daten übertragen, indem Sie in den Proxy-Daten In- und Out-Punkte setzen und die Proxy-Daten auf diese Weise beschneiden.

Hinweise

- Vor und hinter einem Beschneidungspunkt wird ein Randbereich von maximal 15 Vollbildern an die generierte Datei angehängt.
- Wenn Sie Proxy-Daten beschneiden, die mit der Software für die Netzwerkfunktion V1.32 oder früher aufgezeichnet wurden, lassen sich diese Daten unter Umständen nicht an ein nicht lineares Schnittgerät übertragen.

Setzen von Schlüsselszenenmarkierungen in den aufgezeichneten Daten auf diesem Gerät

Mit der Anwendung Content Browser Mobile können Sie während der Aufzeichnung auf diesem Gerät Schlüsselszenenmarkierungen setzen. Diese werden auch in die Proxy-Daten übernommen. Anhand der Schlüsselszenenmarkierungen können Sie die Beschneidungspunkte in einer Datei mühelos festlegen.

Hinweise

- Dies ist nur möglich, wenn die Proxy-Daten dieselbe Größe aufweisen wie die auf diesem Gerät aufgezeichneten Originaldateidaten.
- Wenn die Originaldatei geteilt wird, werden die Schlüsselszenenmarkierungen nicht in die Proxy-Daten übernommen.

Hinweis zum Einstellen von Streaming-Format und Proxy-Format

Wenn in V1.2 (Camcordersoftware) „Bit Rate“ in der Einstellung für das Proxy-Format auf „9Mbps“ eingestellt ist, kann „Bit Rate“ in der Streaming-Einstellung nicht auf einen höheren Wert als „6Mbps“ eingestellt werden. Die Einstellung kann allerdings in V2.0 (Camcordersoftware) vorgenommen werden. Wenn Sie eine Voreinstellung auswählen, bei der „Bit Rate“ auf einen höheren Wert als „6Mbps“ eingestellt ist, wird „Bit Rate“ in der Streaming-Einstellung nicht automatisch in „3Mbps“ geändert.

Hinweis zur Kontrolle mit Content Browser Mobile

Das Bild des Kontrollvideos wird aufgrund des Signalzustands beim Gebrauch oder aufgrund von Mobilgeräten möglicherweise angehalten.

Hinweise zu den entsprechenden Funktionen über eine Netzwerkverbindung

Wenn „Network Mode“ im Menü „NETWORK SET“ auf „Wired LAN“ gesetzt ist, besteht Zugriff auf das Web-Menü des Geräts und die Wi-Fi-Fernbedienung.

Anstelle von „Wi-Fi Remote“ wird im Menü „NETWORK SET“ die Option „Network Remote“ angezeigt, und wenn diese Option auf On gesetzt wird, ist der Zugriff möglich.

Hinweis

Um den unbefugten Zugriff über das Internet zu unterbinden, empfiehlt es sich, „Network Remote“ nur auf On zu setzen, wenn das verkabelte LAN-Netzwerk nicht mit dem Internet verbunden ist. Überprüfen Sie beim Herstellen einer Internetverbindung, ob es sich bei dem Verbindungsziel um ein sicheres Netzwerk handelt.

Hinweis zum Kanal für das WLAN

Sie können das neue WLAN-Modul CBK-WA02 (gesondert erhältlich) verwenden, das mit dem 5-GHz-Frequenzbereich kompatibel ist.

Wenn das mit 5GHz kompatible WLAN-Modul installiert und der Betriebsmodus des WLAN unter „Network Mode“ im Menü „NETWORK SET“ auf „Station“ gesetzt ist, können Sie eine Verbindung zu einem mit 5GHz kompatiblen Zugangspunkt herstellen.

Einige Kanaleinstellungen für das WLAN haben sich geändert.

Stellen Sie „Channel“ im Menü „NETWORK SET“ ein.

- Auto: CH1 bis CH11 werden automatisch ausgewählt
- CH1 bis CH11: manuelles Auswählen eines Kanals
- Auto (5GHz): Der Kanal im 5GHz-Frequenzbereich wird automatisch ausgewählt (wird nur angezeigt, wenn das mit 5GHz kompatible WLAN-Modul angebracht ist)

Hinweis

„Auto (5GHz)“ wird je nach dem verwendeten WLAN-Modul möglicherweise nicht angezeigt.

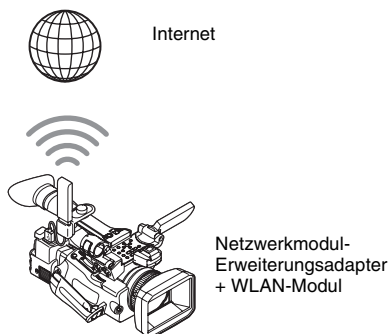
Wird nicht angezeigt, wenn das Modul für ein Land bzw. eine Region bestimmt ist, in dem die Verwendung des 5GHz-Frequenzbereichs im Freien untersagt ist. Stellen Sie sicher, dass das WLAN-Modul in dem Land bzw. der Region der Nutzung unterstützt wird. Einzelheiten dazu finden Sie in der Bedienungsanleitung zum WLAN-Modul.

Anbringen des WLAN-Moduls (CBK-WA02) am Camcorder

- 1 Öffnen Sie die Abdeckung des Anschlusses für externe Geräte.

2 Bringen Sie den mit dem WLAN-Modul CBK-WA02 (gesondert erhältlich) gelieferten Netzwerkmodul-Erweiterungsadapter (CBK-NA1E) am Camcorder an.

Verbinden Sie den nach außen gewölbten Anschluss mit dem Anschluss für externe Geräte am Camcorder und das WLAN-Modul mit dem nach innen gewölbten Anschluss. Sie können den Adapter an der Schraubenbohrung (1/4 Zoll) der Montagestelle für den Zubehörschuh anbringen.



3 Bringen Sie das WLAN-Modul am Netzwerkmodul-Erweiterungsadapter an.

Hinweis

Schalten Sie den Camcorder zum Anbringen/Abnehmen des WLAN-Moduls aus.

Hinweis zur Stromversorgung des drahtlosen, am Multi-Interface-Schuh angebrachten Mikrofons

Bislang konnte der Multi-Interface-Schuh während der Nutzung der Netzwerkfunktion nicht mit Strom versorgt werden. Durch die Aktualisierung steht jedoch die Stromversorgung des Multi-Interface-Schuhs zur Verfügung, wenn der Camcorder mit dem Akku betrieben wird, und das drahtlose Mikrofon UWP-D11/D12 kann zur Nutzung während der Netzwerkfunktion angebracht werden.

Änderungen an anderen Menüs/Warnanzeigen

Menü „LCD/VF SET“

- „NW Client Status“ wurde zu „Display On/Off“ hinzugefügt
Ein-/Ausblenden der Anzeige (On/Off) für den Verbindungsstatus mit CCM unter „NW Client Mode“

Menü „NETWORK SET“

- „6Mbps“ wurde zu „Bit Rate“ unter „Proxy File“ hinzugefügt
- Der Menüname „Wi-Fi Remote“ wurde in „Network Remote“ geändert

Menü „OTHERS“

- „NW Client Mode“ wurde zu „<1>“ bis „<5>“ unter „Assign Button“ hinzugefügt

Warnanzeigen

Warnanzeigen haben sich geändert und wurden ergänzt. Für die Anzeigen gelten folgende Bedeutungen und Maßnahmen.

Warnanzeige auf dem LCD/EVF		
Vor der Aktualisierung	Nach der Aktualisierung	Ursache und Maßnahmen
Cannot Record to SD card NG:Preparing	Cannot Record Proxy NG:Preparing	Die Proxy-Aufzeichnung wird vorbereitet. Warten Sie eine Weile.
Cannot Record to SD Card	Cannot Record Proxy	Wenn das Streaming gestartet wird, steht die Proxy-Aufzeichnung auf „SD-Karte“ nicht zur Verfügung. Wenn die Aufzeichnung läuft, wird sie gestoppt. Wenn Sie die Proxy-Aufzeichnung starten wollen, beenden Sie das Streaming. Wenn der Netzwerk-Client-Modus aktiviert ist, steht die Proxy-Aufzeichnung nicht zur Verfügung.
-	Cannot Connect to CCM Invalid User Name or Password	Möglicherweise ist der Benutzername oder das Passwort für die Verbindung zum CCM im Netzwerk-Client-Modus nicht korrekt. Überprüfen Sie die Einstellungen.
-	Cannot Connect to CCM Invalid Address or Port Number	Möglicherweise ist die Adresse des CCM für das verbundene Gerät im Netzwerk-Client-Modus nicht korrekt oder eine nicht verwendbare Portnummer wurde eingegeben. Geben Sie den korrekten Wert ein.
-	Cannot Connect to CCM Certificate is not yet valid	Das CCM-Zertifikat ist nicht gültig. Unter Umständen ist ein ungültiges Datum eingestellt. Überprüfen Sie das eingestellte Datum.

Zur Verwendung der Funktion erforderliches Gerät

Für eine Netzwerkverbindung ist das USB-WLAN-Modul, das 3G/4G/LTE USB-Modem oder der USB-RJ45-Adapter erforderlich.

Hinweise

- Das WLAN-Modul ist möglicherweise nicht in allen Ländern/Regionen erhältlich.
- Der Frequenzbereich des WLAN-Moduls wird von verschiedenen Geräten genutzt. Je nach der Betriebsumgebung verringern sich möglicherweise die Übertragungsgeschwindigkeit und die Reichweite oder die Kommunikationsverbindung wird getrennt, wenn Sie andere Geräte verwenden.
- Wenn Sie 3G/4G/LTE-Dienste nutzen wollen, müssen Sie einen Vertrag mit einem Mobilfunkunternehmen abschließen.
- Einzelheiten zu den kompatiblen Geräten, die für die Netzwerkverbindung benötigt werden, erhalten Sie bei Ihrem Sony-Händler oder einem Sony-Kundendienstmitarbeiter.

Leggere le seguenti istruzioni insieme alle Istruzioni per l'uso (formato PDF) contenute nel CD-ROM allegato.

Le funzioni aggiunte descritte nel presente documento sono quelle che combinano i due software seguenti.

- Software della videocamera (V2.1)
- Software della funzione di rete (V2.12)

Utilizzare l'applicazione Content Browser Mobile V2.0 o successiva.

Informazioni sulla modalità client di rete

Il menu “NW Client Mode” è aggiunto al menu “NETWORK SET”.

Utilizzando una combinazione della stazione RX di rete Sony PWS-100RX1 (opzionale) e questa modalità client di rete, è disponibile streaming di alta qualità con minore perdita di pacchetti che utilizza la tecnologia Sony QoS.

Mentre si utilizza la videocamera con “NW Client Mode”, utilizzare la videocamera dall'applicazione Connection Control Manager (CCM).

Elenco menu “NW Client Mode”

NETWORK SET		
Voci di menu	Voci secondarie e valori di impostazione	Contenuto
NW Client Mode	Setting On / Off	Stabilire se avviare la connessione o disconnettere con CCM.
	CCM Address	Immettere l'indirizzo di CCM per l'apparecchiatura collegata (nome host o indirizzo IP)
	CCM Port Da 00001 a 08443 a 65535	Immettere il numero di porta di CCM per l'apparecchiatura collegata
	User Name	Immettere il nome utente per l'autenticazione di accesso CCM
	Password	Immettere la password per l'autenticazione di accesso CCM
	Set	Abilitare l'impostazione di connessione (Execute)
	Execute / Cancel	

Streaming con l'alta risoluzione tramite la tecnologia Sony QoS

1 Collegare la videocamera alla rete.

Per informazioni, consultare le istruzioni per l'uso (PDF).

2 Impostare “NW Client Mode” nel menu “NETWORK SET” su “CCM Address”, “CCM Port”, “User Name” o “Password”.

3 In “NW Client Mode” del menu “NETWORK SET”, selezionare “Execute” per “Set”.

Le voci impostate vengono confermate.

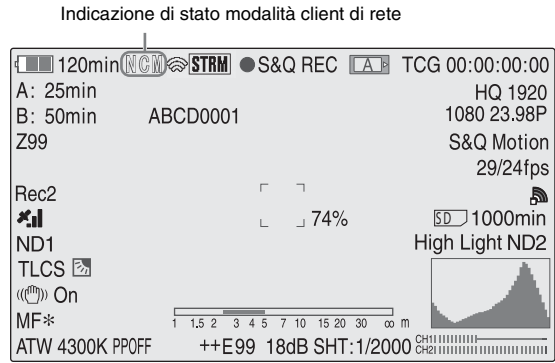
4 Impostare “Setting” in “NW Client Mode” del menu “NETWORK SET” su “On”.

La modalità client di rete viene abilitata e la videocamera è collegata con la stazione RX di rete PWS-100RX1. La trasmissione del video live viene avviata agendo sulla stazione RX di rete PWS-100RX1. Per informazioni, consultare le istruzioni per l’uso della stazione RX di rete PWS-100RX1. È possibile assegnare “Setting” (On/Off) in “NW Client Mode” a un pulsante programmabile.

Note

- Se commutata sulla modalità client di rete, streaming, monitoraggio, registrazione proxy o trasferimento file non possono essere eseguiti.
- Se commutata sulla modalità client di rete durante monitoraggio, registrazione proxy o trasferimento file, queste operazioni si arrestano.

Informazioni sull’indicazione dello stato di connessione di rete durante la modalità client di rete



Quando “NW Client Mode” è impostato su “On”, viene visualizzato lo stato di connessione con CCM (Connection Control Manager per la stazione RX di rete PWS-100RX1).

Condizioni			
Menu “NETWORK SET” > “Network Mode”	Menu “NETWORK SET” > “NW Client Mode” > “Setting”	Stato	Indicazione
Off	Off	-	
Off	On	Non connesso a CCM	
Diverso da “Off”		Connesso a CCM	NCM Accesso
		Connessione a CCM	NCM Lampeggiante
		Errore di connessione CCM	NCMx Accesso

Informazioni sul menu Web

Informazioni su “Devices Status” nel menu Setting

Quando è attivata la modalità client di rete, “Streaming” e “Proxy” sono impostati come segue:

- “Network Client”
 - “Connected to CCM Name”: connessione completata
 - Visualizzazione errore: “Destination Address Error”, “Authentication Failed”, “No Internet Access”, “Certificate is not yet valid”
- “Streaming”
 - “Running”: durante lo streaming
 - “Stop”: quando interrotto
 - “Initializing”: durante la preparazione
- “Proxy”
 - “Stop”: quando interrotto
 - “Disabling”: impossibile registrare

Nota

Quando viene visualizzato “Certificate is not yet valid”, il valore dell’impostazione della data potrebbe non essere valido. Verificare l’impostazione della data.

Informazioni sulla registrazione proxy

Informazioni sull’acquisizione delle informazioni di posizione (GPS)

È possibile registrare le informazioni sulla posizione nei dati proxy tramite GPS.

Registrazione delle immagini fisse dei dati proxy

Quando si esegue la registrazione proxy, viene registrata contemporaneamente l’immagine fissa del primo fotogramma dei dati proxy.

Funzionalità consentite dall’uso dell’applicazione Content Browser Mobile V2.0 o successive

Visualizzazione delle miniature dei dati proxy

È possibile visualizzare rapidamente le miniature dei dati proxy mediante l’immagine fissa del primo fotogramma.

Trasferimento parziale dei dati proxy

Quando si utilizza l’applicazione Content Browser Mobile, è possibile trasferire i dati parziali ritagliati specificando il punto di ingresso e di uscita dai dati proxy.

Note

- Il margine massimo da 15 fotogrammi è allegato davanti e dietro il punto ritagliato in un file generato.
- Quando si ritagliano i dati proxy registrati con il software della funzione di rete V1.32 o precedenti, i dati potrebbero non venire portati nell'editor non lineare.

Collegamento delle tracce di identificazione ai dati registrati di questa unità

Quando si utilizza l'applicazione Content Browser Mobile, è possibile fissare le tracce di identificazione mentre si registra su questa unità, che vengono applicate anche ai dati proxy. È possibile impostare la posizione di ritaglio di un file utilizzando semplicemente le informazioni di tale traccia di identificazione.

Note

- Funzionalità abilitata solo per dati proxy delle stesse dimensioni che seguono le informazioni del file originale registrate su questa unità.
- Quando si divide il file originale, le tracce di identificazione non vengono applicate ai dati proxy.

Informazioni sulle impostazioni del formato streaming e del formato proxy

Quando "Bit Rate" nell'impostazione del formato proxy è impostato a "9Mbps" in V1.2 (software della videocamera), il "Bit Rate" dell'impostazione streaming non può superare "6Mbps". Tuttavia, tale impostazione può essere effettuata in V2.0 (software della videocamera). Se si seleziona il preset il cui "Bit Rate" è impostato ad un valore superiore a "6Mbps", il "Bit Rate" non viene automaticamente ridotto a "3Mbps".

Informazioni sul monitoraggio di Content Browser Mobile

Il monitoraggio dell'immagine video potrebbe bloccarsi a causa delle condizioni del segnale quando utilizzato su dispositivi mobili.

Informazioni sulle funzioni corrispondenti tramite connessione di rete

Quando "Network Mode" nel menu "NETWORK SET" è impostato su "Wired LAN", è possibile eseguire l'accesso al menu Web dell'unità e al telecomando Wi-Fi.

Quando "Wi-Fi Remote", modificato in "Network Remote" nel menu "NETWORK SET", è impostato su On, è consentito l'accesso.

Nota

Per impedire accessi non autorizzati da Internet, si consiglia di impostare "Network Remote" su On quando la rete LAN cablata non è connessa ad Internet. Quando si esegue la connessione ad Internet, verificare che la destinazione di connessione sia una rete protetta.

Informazioni sul canale della LAN wireless

È possibile utilizzare il nuovo modulo LAN wireless CBK-WA02 (venduto a parte) compatibile con la frequenza 5GHz.

Quando il modulo LAN wireless compatibile con 5GHz è installato e la modalità di funzionamento della LAN wireless è impostata su "Station" in "Network Mode" del menu "NETWORK SET", è possibile collegarsi al punto di accesso compatibile con 5GHz.

Alcune impostazioni di canale per la LAN wireless sono state modificate.

Impostare "Channel" nel menu "NETWORK SET".

- Auto: da CH1 a CH11 selezionato automaticamente
- Da CH1 a CH11: selezione manuale di un canale
- Auto (5GHz): il canale nella banda 5GHz viene selezionato automaticamente (visualizzato solo quando è fissato il modulo LAN wireless compatibile con 5GHz)

Nota

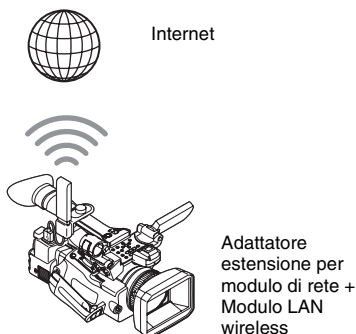
"Auto (5GHz)" potrebbe non essere visualizzato in base al modulo LAN wireless utilizzato.

Non visualizzato se il modulo è per il paese/regione che vieta l'uso della banda 5GHz all'esterno. Verificare che il modulo LAN wireless sia supportato nel paese/regione di impiego. Per informazioni, consultare il manuale per l'uso del modulo LAN wireless.

Collegamento del modulo LAN wireless (CBK-WA02) alla videocamera

- 1 Aprire il coperchio del connettore del dispositivo esterno.**
- 2 Fissare l'adattatore di prolunga per modulo di rete (CBK-NA1E), fornito con il modulo LAN wireless CBK-WA02 (venduto a parte), alla videocamera.**

Collegare il terminale convesso al connettore per il dispositivo esterno della videocamera e collegare il modulo LAN wireless al terminale concavo. È possibile collegare l'adattatore al foro per viti (0,64 cm) dell'attacco per slitta portaccessori.



- 3 Fissare il modulo LAN all'adattatore di prolunga per modulo di rete.**

Nota

Fissare/rimuovere il modulo LAN wireless quando la videocamera è spenta.

Informazioni sull'alimentazione del microfono wireless fissato all'attacco multi-interfaccia

L'alimentazione dell'attacco multi-interfaccia mentre si utilizza la funzione di rete non è disponibile. Tuttavia, tramite aggiornamento, l'alimentazione dell'attacco multi-interfaccia diviene disponibile quando si utilizza la videocamera a batteria e il microfono wireless UWP-D11/D12 può essere fissato per l'uso mentre si utilizza la funzione di rete.

Modifiche di altri menu/indicazioni di avvertenza

Menu “LCD/VF SET”

- “NW Client Status” è aggiunto a “Display On/Off”
Attivazione dell'indicazione On/Off per lo stato di connessione a CCM in “NW Client Mode”

Menu “NETWORK SET”

- “6Mbps” è aggiunto a “Bit Rate” in “Proxy File”
- Il nome di menu di “Wi-Fi Remote” è modificato in “Network Remote”

Menu “OTHERS”

- “NW Client Mode” è aggiunto a “<1>” - “<5>” in “Assign Button”

Indicazioni di avvertenza

Queste sono le modifiche e le aggiunte per le indicazioni di avvertenza. Il contenuto di indicazioni e misure è il seguente.

Indicazione di avvertenza su LCD/EVF		
Prima dell'aggiornamento	Dopo l'aggiornamento	Causa e soluzione
Cannot Record to SD Card NG:Preparing	Cannot Record Proxy NG:Preparing	La funzione di registrazione proxy è in preparazione. Attendere qualche istante.
Cannot Record to SD Card	Cannot Record Proxy	Quando si avvia lo streaming, la registrazione proxy su “SD Card” non è disponibile. La registrazione si arresta quando la registrazione è in corso. Per avviare la registrazione proxy, interrompere lo streaming. Quando è abilitata la modalità di rete client, la registrazione proxy non è disponibile.
-	Cannot Connect to CCM Invalid User Name or Password	Nome utente o password per la connessione a CCM con la modalità client di rete potrebbe non essere corretto. Verificare le impostazioni.

Indicazione di avvertenza su LCD/EVF		
Prima dell'aggiornamento	Dopo l'aggiornamento	Causa e soluzione
-	Cannot Connect to CCM Invalid Address or Port Number	L'indirizzo di CCM dell'apparecchiatura collegata con la modalità client di rete potrebbe non essere corretto o essere stato immesso un numero di porta inutilizzabile. Immettere il valore corretto.
-	Cannot Connect to CCM Certificate is not yet valid	Il certificato CCM non è valido. Il valore dell'impostazione della data potrebbe non essere valido. Verificare l'impostazione della data.

Dispositivi necessari per l'uso delle funzioni

Per una connessione di rete, è richiesto il modulo LAN wireless USB, il modem 3G/4G/LTE USB o l'adattatore USB-RJ45.

Note

- Il modulo LAN wireless potrebbe non essere disponibile in alcuni paesi/regioni.
- La banda di frequenza per il modulo LAN wireless è condivisa da più dispositivi. In funzione dell'ambiente di utilizzo, la velocità e la distanza di trasmissione potrebbero ridursi o la comunicazione potrebbe interrompersi quando si utilizzano altri dispositivi.
- Per utilizzare i servizi 3G/4G/LTE, è necessario un contratto con un fornitore di servizi di telefonia mobile.
- Per informazioni sui dispositivi compatibili richiesti per la connessione di rete, contattare il rivenditore o un rappresentante Sony.

Lea las siguientes instrucciones junto con las Instrucciones de funcionamiento (formato PDF) almacenadas en el CD-ROM que se incluye.

Las funciones añadidas descritas en este documento combinan las dos opciones de software siguientes.

- Software de la videocámara (V2.1)
- Software de la función de red (V2.12)

Utilice la V2.0 o posterior de la aplicación Content Browser Mobile.

Acerca del modo cliente de red

El menú “Modo cl. Red” es una de las nuevas opciones del menú “CONF. RED”. Combinando la estación de RX de red Sony PWS-100RX1 (opcional) y este modo de cliente de red, es posible obtener un streaming de alta calidad reduciendo la pérdida de paquetes con la tecnología QoS de Sony.

Mientras utilice la videocámara con el “Modo cl. Red”, contrólela desde la aplicación Connection Control Manager (CCM).

Lista del menú “Modo cl. Red”

CONF. RED		
Opciones del menú	Opciones secundarias y valores de ajuste	Contenido
Modo cl. Red	Conf. On / Off	Seleccione si desea iniciar una conexión o desconectarla con CCM.
	Direc. CCM	Introduzca la dirección de CCM correspondiente al equipo conectado (nombre de host o dirección IP).
	Puerto CCM De 00001 a 08443 y hasta 65535	Introduzca el número de puerto de CCM correspondiente al equipo conectado.
	Nom usar	Introduzca el nombre de usuario para la autenticación del acceso a CCM.
	Contras.	Introduzca la contraseña para la autenticación del acceso a CCM.
	Def Ejecutar / Cancelar	Active la conexión (Ejecutar).

Streaming en alta resolución gracias a la tecnología QoS de Sony

- 1 Conecte la videocámara a la red.**
Para obtener más información, consulte el Manual de instrucciones (PDF).
- 2 Ajuste la opción “Modo cl. Red” del menú “CONF. RED” en “Direc. CCM”, “Puerto CCM”, “Nom usar” o “Contras.”.**

3 En la opción “Modo cl. Red” del menú “CONF. RED”, seleccione “Ejecutar” para “Def”.

Los elementos de ajuste se confirman.

4 En la opción “Conf.” de “Modo cl. Red”, en el menú “CONF. RED”, seleccione “On”.

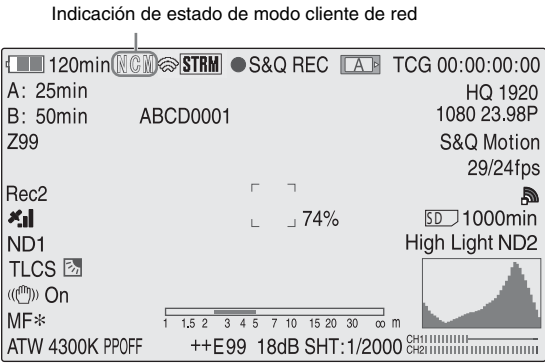
El modo cliente de red queda activado y la videocámara se conecta a la estación de RX de red PWS-100RX1. La transmisión de vídeo en directo se activa al poner en marcha la estación de RX de red PWS-100RX1. Para obtener más información, consulte las instrucciones de la estación de RX de red PWS-100RX1.

Puede asignar la opción “Conf.” (On/Off) de “Modo cl. Red” a un botón asignable.

Notas

- Al activar el modo cliente de red, no es posible realizar operaciones de streaming, monitorización, grabación proxy o transferencia de archivos.
- Al activar el modo cliente de red durante una operación de monitorización, grabación proxy o transferencia de archivos, estas operaciones se interrumpen.

Acerca de la indicación de estado de conexión de red durante el modo cliente de red



Cuando “Modo cl. Red” está ajustado en “On”, aparece el estado de la conexión con CCM (Connection Control Manager correspondiente a la estación de RX de red PWS-100RX1).

Condiciones			
Menú “CONF. RED” > “Modo Red”	Menú “CONF. RED” > “Modo cl. Red” > “Conf.”	Estado	Indicaciones
Off	Off	-	
Off	On	No conectado a CCM	
Diferente de “Off”		Conectado a CCM	NCM Encendido
		Estableciendo conexión con CCM	NCM Parpadeando
		Error de conexión con CCM	NCM× Encendido

Acerca del menú Web

Acerca de “Devices Status” en el menú Conf.

Cuando el modo cliente de red está activado, “Streaming” y “Proxy” están ajustados en las siguientes opciones:

- “Network Client”
 - “Connected to CCM Name”: conexión completada
 - Mensaje de error: “Destination Address Error”, “Authentication Failed”, “No Internet Access”, “Certificate is not yet valid”
- “Streaming”
 - “Running”: durante una operación de streaming
 - “Stop”: operación detenida
 - “Initializing”: preparación
- “Proxy”
 - “Stop”: operación detenida
 - “Disabling”: no es posible grabar

Nota

Si aparece “Certificate is not yet valid”, es posible que la fecha esté ajustada en un valor no válido. Compruebe la fecha.

Acerca de la grabación proxy

Acerca de la obtención de la información de posicionamiento (GPS)

Puede grabar la información de posicionamiento en los datos de proxy a través de GPS.

Grabación de las imágenes fijas de los datos de proxy

Cuando se realiza la grabación proxy, se graba simultáneamente la imagen fija del primer fotograma de los datos de proxy.

Funciones disponibles con la aplicación Content Browser Mobile V2.0 o posterior

Mostrar miniaturas de los datos de proxy

Es posible mostrar las miniaturas de los datos de proxy rápidamente usando la imagen fija del primer fotograma.

Transferir datos de proxy parcialmente

Si utiliza la aplicación Content Browser Mobile, podrá transferir los datos parciales cortados especificando el punto de entrada y el punto de salida de los datos de proxy.

Notas

- En el archivo generado, se añade un margen máximo de 15 fotogramas delante y detrás del punto cortado.
- Al cortar los datos de proxy grabados con el software de función de red V1.32 o anterior, es posible que los datos no puedan usarse en el editor no lineal.

Añadir una Essence Mark a los datos grabados de esta unidad

Si utiliza la aplicación Content Browser Mobile, podrá añadir Essence Marks mientras graba en esta unidad. Además, se aplican a los datos de proxy. Es posible definir la posición de corte de un archivo simplemente utilizando la información de la Essence Mark.

Notas

- Solo aplicable a los datos de proxy del mismo tamaño que sustituyen la información del archivo original grabada en esta unidad.
- Cuando se divide el archivo original, las Essence Marks no se aplican a los datos de proxy.

Acerca de la configuración del formato de streaming y el formato de proxy

Si la opción “Veloc. bits” en la configuración del formato de proxy está ajustada en “9Mbps” en la V1.2 (software de la videocámara), la opción “Veloc. bits” de la configuración de streaming no puede ajustarse en un valor superior a “6Mbps”. Sin embargo, el ajuste puede realizarse en la V2.0 (software de la videocámara). Si selecciona una opción predeterminada cuya “Veloc. bits” esté ajustada en un valor superior a “6Mbps”, la opción “Veloc. bits” de la configuración de streaming no cambia automáticamente a “3Mbps”.

Acerca de la monitorización de Content Browser Mobile

El vídeo de monitorización puede interrumpirse a causa de problemas en la señal cuando se utiliza en dispositivos móviles.

Acerca de las funciones disponibles a través de la conexión de red

Si “Modo Red” en el menú “CONF. RED” está ajustado en “LAN con cable”, es posible acceder al menú Web de la unidad y utilizar el control remoto Wi-Fi.

Si “Wi-Fi dist.”, que aparece como “Mando dist. red” en el menú “CONF. RED”, está ajustado en On, se permite el acceso.

Nota

Para evitar accesos no autorizados desde Internet, recomendamos ajustar “Mando dist. red” en On cuando la red LAN con cable no esté conectada a Internet. Al realizar la conexión a Internet, asegúrese de que el destino de conexión sea una red segura.

Acerca del canal de la LAN inalámbrica

Puede utilizar el nuevo módulo de LAN inalámbrica CBK-WA02 (vendido por separado) compatible con la banda de 5GHz.

Si hay instalado un módulo de LAN inalámbrica compatible con 5GHz y el modo de funcionamiento de la LAN inalámbrica es “Emisora” en la opción “Modo Red” del menú “CONF. RED”, puede conectarse al punto de acceso compatible con 5GHz.

Algunos ajustes de canal de la LAN inalámbrica se han modificado.

Seleccione “Canal” en el menú “CONF. RED”.

- Auto: selección automática de CH1 a CH11
- De CH1 a CH11: selección manual de un canal
- Auto (5GHz): se selecciona automáticamente el canal de la banda de 5GHz (aparece solo si hay instalado el módulo de LAN inalámbrica compatible con 5GHz)

Nota

Es posible que “Auto (5GHz)” no aparezca, en función del módulo de LAN inalámbrica utilizado.

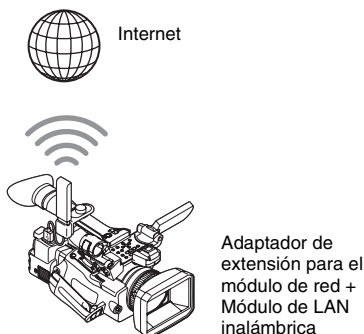
No aparece si el módulo está pensado para un país o una región en el que la utilización de la banda de 5GHz en exteriores esté prohibida. Asegúrese de que el módulo de LAN inalámbrica puede utilizarse en el país o la región en cuestión. Para obtener más información, consulte el manual de instrucciones del módulo de LAN inalámbrica.

Instalación del módulo de LAN inalámbrico (CBK-WA02) en la videocámara

1 Abra la tapa del conector de dispositivos externos.

2 Instale el adaptador de extensión del módulo de red (CBK-NA1E) suministrado con el módulo de LAN inalámbrica CBK-WA02 (se vende por separado) en la videocámara.

Conecte el terminal convexo al conector de dispositivo externo de la videocámara y conecte el módulo de LAN inalámbrico al terminal cóncavo. Puede acoplar el adaptador al orificio del tornillo (1/4 pulg.) del soporte de la zapata para accesorios.



3 Instale el módulo de LAN inalámbrica en el adaptador de extensión del módulo de red.

Nota

Instale/extraiga el módulo de LAN inalámbrica mientras la videocámara está apagada.

Acerca de la alimentación del micrófono inalámbrico conectado a la zapata de interfaz múltiple

Hasta ahora no era posible proporcionar alimentación a la zapata de interfaz múltiple durante la utilización de la función de red. Sin embargo, con la actualización es posible proporcionar alimentación a la zapata de interfaz múltiple al utilizar la videocámara con la batería y también acoplar el micrófono inalámbrico UWP-D11/D12 para utilizarlo durante la función de red.

Cambios en otros menús/indicaciones de advertencia

Menú “LCD/VF SET”

- “Estado cliente red” se añade a “Pantalla On/Off”
Permite alternar entre On/Off en el estado de conexión con CCM en el “Modo cl. Red”

Menú “CONF. RED”

- “6Mbps” se añade a la opción “Veloc. bits” de “Archivo proxy”
- El nombre de menú de “Wi-Fi dist.” cambia a “Mando dist. red”

Menú “OTROS”

- “Modo cl. Red” se añade a las opciones de “<1>” a “<5>” en “Asignar botón”

Indicaciones de advertencia

Se han introducido modificaciones en las indicaciones de advertencia. Las indicaciones y las acciones correspondientes son las siguientes.

Indicación de advertencia en LCD/EVF		
Antes de la actualización	Después de la actualización	Causa y acciones
No puede grabar en t. SD NG: preparando	No se puede grabar proxy NG: preparando	La función de grabación proxy se está preparando. Espere unos instantes.
No puede grabar en t. SD	No se puede grabar proxy	Cuando se inicia la transmisión en streaming, la grabación proxy en una “Tarjeta SD” no está disponible. La grabación proxy se interrumpe durante una grabación. Para iniciar la grabación proxy, detenga la transmisión en streaming. Si el modo cliente de red está activado, la grabación proxy no está disponible.
-	No se puede conectar a CCM Nombre us. o contras. no vál.	El nombre de usuario o la contraseña para conectar con CCM con el modo cliente de red tal vez no sea correcto. Compruebe los ajustes.

Indicación de advertencia en LCD/EVF		
Antes de la actualización	Después de la actualización	Causa y acciones
-	No se puede conectar a CCM Nombre us. o núm. pto. no vál.	La dirección de CCM correspondiente al equipo conectado con el modo cliente de red puede que no sea correcta o tal vez se haya introducido un número de puerto que no puede utilizarse. Introduzca el valor correcto.
-	No se puede conectar a CCM el certificado todavía no es válido	El certificado CCM no es válido. Es posible que la fecha esté ajustada en un valor no válido. Compruebe la fecha.

Dispositivo necesario para poder utilizar esta función

Para las conexiones de red, es necesario el módulo de LAN inalámbrica USB, un módem 3G/4G/LTE USB o un adaptador USB-RJ45.

Notas

- Es posible que el módulo LAN inalámbrico no esté disponible en determinados países/regiones.
- La banda de frecuencia del módulo LAN inalámbrico se comparte con varios dispositivos. En función del entorno de uso, es posible que la velocidad y la distancia de transmisión disminuyan o que la comunicación se corte si se utilizan otros dispositivos.
- Para utilizar los servicios 3G/4G/LTE, debe tener un contrato con una empresa de telefonía móvil.
- Para obtener más información sobre el dispositivo compatible necesario para la conexión de red, póngase en contacto con su distribuidor Sony o un representante del servicio técnico de Sony.

